

第14回 統計品質改善会議 議事概要

- 日 時：令和7年3月19日（水）15:30～16:05
- 場 所：中央合同庁舎2号館 14階 情報政策本部会議室A B
- 議事概要：以下のとおり。

【資料の説明】

事務局が以下の各議事に関する資料を説明した。

- 議事1 「国土交通省統計改革プラン」の状況報告
(業務マニュアルの改善、オンライン回答率の向上)
- 議事2 建設工事統計調査の見直し
- 議事3 その他

【構成員からの主なご発言】

<議事1：「国土交通省統計改革プラン」の状況報告>

[業務マニュアルの改善について]

- 今回の取組によって整備されたマニュアルは、どのような時に使うことを想定しているのか。
- サンプルマニュアルの冒頭に、次に掲げる事案に該当する場合はマニュアルを必ず見直す旨を記載しては如何か。例えば、調査事項や調査周期（調査計画）が変わった際、または法制度が変わった場合等に必ずマニュアルを見直すと明記する。
- 今回、チェックリストが改定されたことにより評価基準が変わるので、今後の評価結果も変わってくると思われる。ひとまず、R6.7時点での評価がレベル2であったものを重点的に解消することを目標とし、それが終わったら新基準に基づいて評価が低いものから順に改善していくという流れになる。また、改善が進んでいくと、マニュアルに重点的に盛り込む内容も変わっていくと思うので、チェックリストの項目を随時見直し、マニュアルの改善を継続していくことになると思う。最終的には、統計の作成業務が目に見える形となり、改善すべき点が把握しやすくなるので、DX化の検討等における統計業務の改善に繋げていってほしい。

[オンライン回答率の向上について]

- 本省直轄の調査、都道府県経由の調査、民間委託を行う調査において、オンライン回答率に差はないか。もしも差があるのであれば、その要因を分析すると良いと思う。
- 世の中の状況を考えると、当面は何もせずともオンライン回答率は向上するものと思われるが、それに甘んじることなく、様々な方策を考えていることは良い取組だと思う。他方、オンライン回答率が向上しない調査があれば、その原因を追及してほしい。

<議事2：建設工事統計調査の見直し>

- 今後の政府の統計調査は、行政記録情報をいかに活用して効率化を図るか、究極的には、行政記録に基づく統計に置き換えていく方向を目指すことが重要である。手書きの書類をPDFにして電子書類として提出されただけでは、デジタル情報として直接的に統計調査に活かすことはできない。現在ではAI-OCR等の技術が進んでおり、機械判読による誤読も減っていくと考えられるので、このようなものも試行的に取り入れていくと効率化が実現するのではないか。
- スケジュールどおりに進めるためには大変な努力が必要だと思う。特に今年第1期の記載内容では取り組むべき内容が多いが、統計品質改善会議にはそれらの内容に詳しい先生方が多く参加しているので、その先生方の助言も頂きながらしっかりと検討して欲しい。また、第2期が一番大事なので、よろしくお願ひしたい。

<議事3：その他>

事務局が現時点の構成員を説明した。構成員から特に発言はなかった。

以上